スイッチ OTC 薬の注意すべき相互作用 (1990年10月現在) NIKKEI MEDICAL

	成分の一般名(用法・用量)	商品名 (配合されている左記成分の用法・用量)	相互作用
	塩酸プロムヘキシン (4mg×3回)	パブロンS (4mg×3回)	
403	フマル酸クレマスチン (2mg×3回)	新ルルA錠(感冒)(1.34mg/day) ルネルガル(鼻炎)(0.67mg×2回)	
総	セラペプターゼ(5~10mg×3回)	ベンザエースD錠(5mg×3回)	抗凝血剤(ワーファリンなど)との併
合感	塩化リゾチーム(20~90mg×3回)	新ルルA錠(20mg×3回) パブロンS(20mg×3回) コルゲンコーワホワイト錠(21mg×3回) フルダン(20mg×3回)	用で抗凝血剤の作用が増強すること がある。
冒 薬	クレゾールスルホン酸カリウム(270	パイロンAM錠 (20mg×3回) パイロンAM錠 (250mg/day)	
お	~360mg/day) プロメライン (8万~16万ブロメライ	ナウミイ錠 (3.1 万単位×3 回)	
よ	ン単位を2~4回に分服) セアプローゼS (10~15mg×3回)	ユアS (10mg×3回)	抗凝血剤 (ワーファリンなど) との伊
び	<u>(セミアルカリプロティナーゼ)</u> イソプロピルアンチピリン	新アナクール (1万単位×3回) プレコールエースカブセル (感冒)	用で抗凝血作用を増強させることか ある。
解熱	(1回500mg1日3g)	(100mg×3回) 新サリドン (解熱) (150mg1日450mg) シンピリンA錠 (解熱) (150mg1日 450mg)	(2.00
剤	トラネキサム酸(750~2000mg×3~4回)	ペラック(抗炎症)(140mg×3回)	イプシロン-アミノカプロン酸との 併用で血栓形成を起こす可能性があ
	リン酸ジメモルファン (10~20mg× 3回)	コデシリンせきどめ液(10~15mg×3 回)	る。またヘモコアグラーゼとの併用 でも血栓傾向が現れる恐れがある。
	臭化プチルスコポラミン (10~20mg×3~5回)	プスコバンA錠(10mg×3回)	三環系抗うつ剤、フェノチアジン系 薬剤、MAO阻害剤、抗ヒスクミン剤 との併用により、臭化プチルスコポ ラミンの作用が増強されることがあ る。
目	臭化メチルアニソトロピン (10~20mg×2~4回)	三共鎮痛鎮痙胃腸薬(10mg×3回)	ジゴキシの併用によ、別が増大し、のが増大し、別が増大し、別が増大し、別が増大し、別が増大し、の間では、別が増大し、の間では、別が増大し、アール・ファッシン、スをといって、のでは、アール・ファッシン、が、アール・ファッシン、が、アール・ファッシン、が、アール・ファッシン、が、アール・ファッシン、が、アール・ファッシン、が、アール・ファッシンをは、アール・ファッシンとは、アール・ファッシンをは、アール・ファッシンをは、アール・アール・アール・アール・アール・アール・アール・アール・アール・アール・
腸	塩酸セトラキサート (200mg×3~4 回)	センロック錠 (200mg×3回)	
	ウルソデスオキシコール酸 (50mg× 3回)	ハイウルソ顆粒 (20mg×3回)	経口糖尿病薬(トルブタミドなど) の作用を増強させる。
	臭化チメピジウム(30mg×3回)	タナベSEカプセル(15mg×3回)	
薬	スクラルファート(1~1.2g×3回 (ショ糖硫酸エステルアルミニウム 塩)	中外胃腸薬<細粒>(500mg×3回)	制酸剤との併用で、スクラルファートの作用が無効になる。テトラサイクリン系抗生物質の吸収を減じ、ワーファリンの吸収も減じる。且です。 マルスを使用が重要がある。」では、フェニトインの吸収も減じる。 マ体情抗薬(シメチジン、ラニチジンなど)との併用ではこれら吸収を弱め、さらにスクラルソアートの作用も無効になる。
解鎮 痛 熱剤	イププロフェン (200mg×3回)	チルカ錠(150mg×3回) イブ(150mg×3回) ニューロフェン(150mg×3回) ナロンエース(144mg×3回)	クマリン系抗凝血剤(ワーファリン)と併用するとその作用を増強させる。又、経口糖尿病薬の作用を増強させる。別、経口糖尿病薬の作用を増強させる恐れがある。
	ソイステロール(400mg×3回)	デコレールE (200mg×3回)	
そ	ポリエンホスファチジルコリン (500mg×3回)	エサヘパンS (500mg×3回)	ジキタリス剤との併用では、血清カリウム値低下により、ジギタリス中 毒作用を増強する。
0	ビコスルファートナトリウム (5~7.5mg/day)	ソフィット (5~7.5mg/day)	
他	アルギン酸ナトリウム (1~3g×3~4回)	ナイスロン(100~200mg/day)	
	ヘプロニカート(100~200mg×3 回)	メグリンA錠(100mg×3回) ゼノム(100mg×3回)	
	塩酸ロペラミド(1~2mg/day)	マルピー下痢止め (0.5mg×2回)	